



てのあと



わたしがてのひらの活動を続ける理由（わけ） 理事 大塚 綾乃

年末年始、数年ぶりにタイ、カンボジアを訪れました。どちらの国もその変化に驚きました。観光客の多くは欧米人が占めていたはずが、今は多くの中国人や韓国人が訪れ、町並みもずいぶんと変わっていました。特にカンボジアは、多くの若者や観光客が集う飲食店が立ち並び、色とりどりのネオンでまばゆいナイトマーケットが完成されていました。私が数年前にみた、物乞いをしていた親子や、白人に連れられる子どもはどこに行ってしまったのかと、ふと疑問に思いました。どこかに移ったのか、それとも隠されているだけなのだろうか。

今から約8年前、てのひらのスタディービジットを通じて初めてタイを訪れました。人身売買の被害にあった女性や、その子どもたちを支援している数カ所の施設を訪問し、女性達から話を聞く機会がありました。そこで出会ったある1人の女性の言葉が、決して忘れられません。

女性には、強制的に性産業に従事させられていたときに、日本人男性との間に身籠った子どもがいました。女性は、子どもが大きくなった時に、父親についてなんて話せばいいのか、とつぶやきました。衝撃的でした。「ああ、私は今まで『被害者』としか、女性達を見ていなかった。この人は一人の親として子どもと向き合おうとしている。これから生きようとしているんだ」、そう感じましたが、そのときは衝撃で反応することもままならず、唸るしかできませんでした。ただ、今明確に言えるのは、過去の被害と向き合い、これからどう生きて行こうかと進もうとしている人たちに寄り添った事業をしたい、その気持ちは、彼女との出会いによって生まれたということです。

現在てのひらでは、読み書き専門の日本語教室を行っています。日本に暮らす外国籍女性の「子どもが学校から持ち帰る連絡帳が読めない」という言葉から始まった事業です。初年度に比べると参加者数は倍以上になり、潜在的なニーズの高さが伺えます。

これから生きようとする女性たちの想いがあり、その想いに事業を通じて応えていくことは、てのひらが目指してきたい姿ですし、わたしがてのひらを通して実現したい想い、続けられる理由だと思っています。これからも1名でも多くの、活動を必要としてくれている人達と共に、少しずつ進んで行きたいと思っています。

シンポジウム開催のご報告

てのひら スタッフ 野村未侑



2012年11月10日（土）、平成24年度東京ウィメンズプラザフォーラム参加企画として、シンポジウム「女性や子どもへの暴力をなくすために～日本における人身売買、DVの現状を観点に」を開催いたしました。当日はお休みの遅い時間帯でしたが、多くの方々にご来場いただき大盛況のうちに幕を閉じることができましたことを、ここに報告させていただきます。本シンポジウムでは、日本に暮らす外国籍女性へのDVや人身売買について、また、近年増えている日本の子どもや若い女性をターゲットにした人身売買の問題について取り上げました。

弁護士として、またJNATIP（人身売買禁止ネットワーク）共同代表として活躍されている吉田容子さんをはじめ、「コムスタカー外国人と共に生きる会」の中島眞一郎さんより、外国籍女性の人身売買の被害及び技能自習制度の問題点等について、また「ポラリスプロジェクトジャパン」の藤原志帆子さんより、人身売買被害のケーススタディ等をお話いただきました。また第二部の質疑応答の時間では、ご参加いただいたみなさまから積極的なご発言をいただいたことで、一方通行の講義のような情報発信ではなく、会場がひとつとなって、考えたり、まわりに投げかけたり、と、まるで対話のようなイベントとなりました。

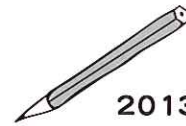
人身売買やDV等といった女性・子どもに対する暴力は、社会の「無関心」が一番の問題であると思います。日々忙しく過ごす中で、目を閉じて1分でも、30秒でも、こうした問題に遭う人々のことを思う。そんな些細な一歩が、いつか社会を動かしていくのではないのでしょうか。私はそう信じております。「女性や子どもに対する暴力」と、扱うものがとても大きいシンポジウムでしたが、みなさまの心の中になにかひとつでも新たな発見をご提供できていたら、幸いです。改めまして、ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。



<こちらのシンポジウムはJNATIP（人身売買禁止ネットワーク）からの協賛金を受けて実施させていただきました>



活動便り



2013.1月



人身取引対策関係省庁と人身売買禁止ネットワークとの意見交換会を開催して

代表理事 百瀬 圭吾

2012年11月20日(火)午後、永田町の内閣官房本庁にて、今年度の人身取引対策についての政府と民間団体との意見交換会が開催されました。昨年に引き続き当会が呼びかけ団体となり、NGO側は約10団体が参加し、内閣官房をはじめ厚生労働省、警察庁、法務省、入国管理局などに対して、主に人身取引被害者の認定についての議論を交わしました。

とくに研修生・技能実習生の人身取引被害が多発するなかで、被害者の認定と保護の多様化が求められている実態を中心にNGO側が話を進めていきました。警察庁と入国管理局との被害者認定の違いが浮き彫りになり、認定の幅を広げることについての課題や現在は婦人相談所が中心に行っている女性被害者保護に加え、今後は男性やセクシャルマイノリティの被害者保護も取り組まねばならない状況にあることを政府に強調していきました。

また、アメリカや国連機関の制作した広報媒体を参考にして、問題の啓発方法についても話し合い、従来のポスターや啓発カードは時流に合っておらず、もう少しYoutube等のネット媒体を使い、安価に多くの人たちに共有できるネット媒体を多用する必要があるのではないかという提案をしました。ところが、警察庁や内閣府などの担当省庁からは「ポスター制作費」で予算申請をしているので、ポスター以外は制作できないとの回答でした。このような状況であると民間団体が制作して配信した方が迅速で安上がりかもしれません。

今回の成果は、NGO側で事前に数回打合せを行い、政府に対して事前に質問集を渡し、それについての回答を当日受けながら話し合うという方法を取ったために、昨年以上の意見交換が成り立ったことです。反面、NGO側の準備の分担や連絡調整等が偏ってしまい、ネットワークならではの課題が見えてきた部分もあります。来年から当会は呼びかけ団体としては加わらない予定ですが、関われる範囲でこれからも意見交換会には参加し続けられればと思っています。

コラム バングラの風 杉本文恵

バングラデシュというと、一年中暑い、常夏の国を想像される方も多いと思いますが、現在は冬となります。2か月という短い間ではありますが、意外と寒く、朝晩は毛布が必要なほどです。

朝は濃い霧が立ち込め、ありったけの布を体に巻きつけて揺らめく人々の姿や、ライトをちらちらとのぞかせながら走るCNG(三輪駆動車)などは、幻想的ですからあります。

バングラデシュでは、野菜や果物など、季節の物は、ほとんどその時期にしか手に入りません。そのため、食卓や、路上で食べ物を売る光景には、とても季節感が漂っています。今の時期ならば、特に寒くなる朝と夜に「ピタ」と呼ばれる米粉を蒸したお菓子が、夜にはゆで卵などが路上を彩ります。また、果物の種類は少なくなりますが、野菜の種類が大変豊かになります。雨も全く降らなくなり、乾季でもあります。雨季には池となっていた場所も水かさが減り、老いも若きもきやあきやあと楽しみながら、夕食用の魚を素手で取っています。水の引いた農地も次々に耕され、まさに国歌にもなった「ショナール・バングラ(黄金のバングラ)」です。菜種の黄色も美しく、まるで大地はキャンパスのようです。

写真：農作業をする人びと



事務局通信

★東京CPB様より活動資金を融資頂けることが決定いたしました!

東京コミュニティーパワーバンク様は、市民事業への融資を実施されています。前回に引き続き、今年も東京コミュニティーパワーバンク様より幣団体の活動資金を融資頂くことが11月に決定致しました。

私どもの日々の活動が成り立つのは、このようにご支援・ご賛同頂ける皆様ひとりひとりのおかげです。ご支援頂ける皆様に、自信を持ってご報告できるような活動ができるよう、精進していく所存です。この場をかりて、深謝申し上げます。(S.S)

★日本語「読み書き」教室、後期も継続中です。

2012年後期、「退所者クラス」として一本化された日本語教室に、10名を越える方たちから参加の申し込みを頂きました。寒い日が続くこの時期、教室に参加者のみなさんが通うのもひと苦勞だと思いますが、先生がたの力のこもった授業で教室の中はいつも熱気に溢れています。お子さんを連れて参加する方も多く、子どもサポーターさんも大活躍。参加者のみなさんが、生き生きと暮らしていく上で必要な日本語を学べるよう、引き続きサポートしてまいります。(N.M)

入会案内とご寄付のお願い てのひらの設立趣旨に賛同し、活動を支えて下さる方を募集しています。ご寄付も大歓迎です。

一般会員	5,000円	団体会員	10,000円
賛助会員	一口 3,000円	団体賛助会員	一口 5,000円

- 郵便振替口座 00190 - 4 - 280388
(他行からは 当座 019・口座番号 当座 0280388)
口座名義：てのひら～人身売買に立ち向かう会

- みずほ銀行 大森支店 普通 1394224
口座名義：特定非営利活動法人てのひら・人身売買に立ち向かう会

お問い合わせ

〒143-0016

東京都大田区大森北 1-30-1 三喜屋ビル 2階

TEL&FAX 050-1445-6947

E-mail▶ info@tenohira-trafficking.org

HP▶▶▶http://www.think-trafficking-project.com/